

第1学年 道徳科学習指導案

日時 令和7年10月8日（水）公開授業Ⅰ

児童 21名

指導者 古 舘 千枝子

1 単元について

(1) 単元名 「なかよくなろうね 小さなともだち ～まもう いのち～」

(2) 教科等横断的単元構想図【道徳科＋生活科】

〈児童の実態と教科横断するよさ〉

生きものに対する興味関心は高いが、捕まえた生きものを安易に死なせてしまうことがあり、身近な動物の生死への関心は低い。自分が当たり前に生活していることは実は生命があるからできることであることには気付いておらず、生きることの素晴らしさや生命の尊さを考えることは十分にはできていない。「他者に対する受容・共感・敬意」を育成するために、道徳科と生活科をつなぐ。

〈生活科〉

2年生の生きものに関する発表を見て生きものへの興味・関心を高め、校内の生きものを探したり、生きもののすみかや餌、生きものへの接し方等を考えて世話をしたりする。

「捕まえたところと同じようなすみかをつくってあげたいな。」

生きものの立場に立った世話の仕方考えるようにする。

〈生活科〉

生活科見学で動物公園にいる山羊などの動物と実際に触れ合う中で、生きものの生命を実感する。

「山羊って、触ると温かいな。」

動物と触れ合う体験から、動物が生きていることを実感できるようにする。

〈道徳科〉

「生命の尊さ」についての学習をし、身近な生きものの誕生や成長の様子を優しく見つめ、生命の大切さについて考える。

「生きていることは、素晴らしいことなんだね。」

生きることの素晴らしさや生命の尊さを考え、自身を含めた命あるものを大切にしようとする態度を育てる。

〈生活科〉

飼っていた生きものを自然に帰し、生きものを育てたことを振り返りながら、気付いたことや自分自身の成長などを学級の友だち・2年生・地域の人に伝える。

「生きものは、自分と同じ生命があるんだね。だから、大切にしていきたいな。」

相手意識をもたせ、表現方法の特徴に合わせて発表できるようにする。

○自己（人間）の生き方にかかわる目指す児童の姿（育みたい資質・能力が表われた姿）

〈生活科〉

生きものが自分と同じように生命をもっていることを理解し、生命は全ての生きものにたった一つだけ等しく与えられたかけがえのない尊厳があり、責任をもってそれを守り育てていくことの重要性を認識し、自他の生命を大切にしようとする児童。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道徳科	評価の視点 身近な生きものの不思議さやたくましさに気づき、生命を大切にしようとするということについて考えを深めている。		
生活科	①生きものの特徴、育つ場所、変化や成長の様子や、育てている生きものに合った世話の仕方があることに気付いている。 ②生きものは、生命をもっていることや成長していることに気付いている。	①生きものの特徴や育つ場所、変化、成長の様子に着目したり、生きものの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。 ②育ててきた生きもののことや、心を寄せて世話をしてきたことなどを振り返り、表現している。	①よりよい成長を願って、繰り返し関わろうとしている。 ②生きものの特徴や育てる場所、変化や成長の様子に応じて、世話をしようとしている。 ③生きものに親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信をもったりしたことを実感し、生命あるものとして関わろうとしている。

3 指導計画（18時間）

	小単元名（時 数）	ねらい・学習活動（時数）	考える活動の手立て	知	思	態
生活科	1 生きものとなかよくなろう。（2）	2年生の発表を見て、生きものへの興味・関心をもつ。（1） 学習課題を設定し学習の見通しをもつ。（1）	ア 考えを引き出す ア 考えを引き出す			① ①
	2 動物公園で動物となかよくなろう。（5）	動物公園見学の計画を立て、1・2年合同のたてわりグループで見学したり、実際に動物に触れ合ったりする。（5）	ア 考えを引き出す	②		
	3 生きものをさがそう。（2）	生きものを採取したり育てたりする意欲をもち、生きものが住んでいそうな場所を予想して自分で捕まえる。（2）	イ 考えを整理・分析する		①	
	4 生きものともとなかよくなろう。（4）	生きものが育つ環境と関連付けながら、観察をしたり、特徴に合わせた適切な世話をしたりして、形態や生態に気づき、生きものを大切に育てる。（4）	ア 考えを引き出す イ 考えを整理・分析する	①		②
道徳科	5 「ハムスターのあかちゃん」を学習しよう。（1）（本時）	「ハムスターのあかちゃん」を学習し、身近な生きものの不思議さやたくましさに気づき、生命を大切にしようとするということについて学習する。（1）	ウ 考えをまとめる			
生活科	6 学習を振り返ろう。（4）	生きものの特徴など伝えたいことを工夫してまとめたり友だちや2年生と交流した活動を振り返ったりして、世話をして気付いたことや生きものへの思い、自分自身の成長を表現する。（4）	エ 考えをつなげる		②	③

4 本時の指導 14 / 18 時間

(1) 本時のねらい

身近な生きものの誕生や成長の様子を優しく見つめ、生活科での生きものの飼育体験とつなげることで、生命を大切にしようとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と子どもの反応	形態	指導上の留意点と教師の働きかけ 【考える活動の手立て】
導入 5分	1 身近な生きものとの触れ合いの経験を話す。 ・山羊を触ったら温かった。 ・捕まえてきた虫を死なせてしまった。 2 本時の課題を確認する。 生きものの命について考えよう。	全	・生活科での飼育体験を想起しやすくするために、写真を掲示する。 ・ハムスターの動画を視聴し、教材への関心を高めるようにする。
展開 30分	3 教材を読んで話し合う。 赤ちゃんを口にくわえているときのお母さんはどんな気持ちだったでしょう。 ・そっと運んであげよう。 ・赤ちゃんを傷つけないようにくわえよう。 ・赤ちゃんが怖がらないようにしよう。 ・新しい巣で気持ちよくねむらせたい。 これから大きくなる赤ちゃんに、お母さんはどんな言葉をかけているでしょう。 ・もっともっと大きくなってね。 ・たくさん食べて大きくなってね。 ・病気をしないで元気に成長してね。 ・兄弟で仲よくしてね。 ・これからも大切に育てるからね。 4 生命について自己を見つめる。 自分が生きていて感じるのは、どんなときですか。 ・心臓が動いていること。 ・ご飯を食べること。 ・体が温かいこと。 ・勉強をしたり遊んだりできること。 ・体が大きくなっていくこと。 ・友達と仲よく過ごすこと。	全 全 全 ペ 全	・お母さんは、鋭い歯を使ってくわえても、赤ちゃんを傷つけることが無いことから、大切に育てているお母さんの思いに気付くようにする。 ・自分の経験や、弟・妹をお世話する母親の様子を想起させ、ハムスターと人間のお母さんのどちらも子どもを大切に育てていることを確認する。 ・ペープサートを用意し、児童はお母さん役、指導者が赤ちゃん役になり、赤ちゃんに声をかける。 ・赤ちゃんの成長を願うお母さんの気持ちと、愛情をもって育ててくれるお母さんの思いに応えようとする赤ちゃんの気持ちにも気付かせるために、指導者が赤ちゃんの思いを代弁する。 ・場面絵を活用し、大きくなっていくハムスターの赤ちゃんを視覚的に捉えさせながら、赤ちゃんだけでは生きていけないことを押さえるようにする。 ・当たり前のことで見過ごしがちな体のぬくもりや元気な動きなどが、「生きていて証」であることを確認する。 ・どうして生きていられるのかを問い返し、両親や家族など周囲の人の支えがあることを押さえるようにする。 ・ハムスター、生きもの、人のすべてに親がいて、子どもの成長を支えているという共通点を捉えさせるために、板書を活用して話し合う。 ・自分も生きものの命を守っていたことに気付かせるために、生活科の体験を引き出し、親のように成長を支えていた実感をもたせるようにする。

終末 10分	5 本時の学習を振り返る。 ・今までは、生きものの命をあまり大切にしていませんでした。今日の学習で、小さな生きものでも命があると分かりました。これからは、しっかりと世話をして大切に育てたいです。 ・今までは、生きものを捕まえることが楽しくて、飼ってからはあまり世話をしませんでした。だから死んでしまうことがありました。今日の学習で、生きものにはみんな命があることが分かりました。これからは、えさやりやすみかをよく考えて大切に育てたいです。 ・今までは、生きものの世話を家族に任せて自分は見ているだけでした。今日の学習で、自分と同じように虫にも命があることが分かりました。これからは、自分がしっかりと世話をしたいです。 ・今までは、捕まえた生きものにお母さんがいることは考えませんでした。今日の学習で、お母さんがいることに気がつきました。これからは、お母さんを悲しませないように、お母さんの代わりになって、しっかりと育てたいです。	全 ペ 個 全	・生活科における飼育体験の写真などを見ることで、これからの自己の関わり方を考えられるようにする。 ・今までの自分や、今日の学習で分かったことをペアで話し合わせ、ワークシートには「これからは」については必ず書けるようにする。 ・どんなに小さな生きものでも生命があり、それを大切に育むことは難しいことであり、責任をもって世話をしなければならないことを自覚できるように、出された振り返りをみんなで共有する。 ・生きものの生命を大切にしようとする思いが書かれたワークシートの記述を聞き、生命の大切さを自覚できるようにする。 【手立て ウ 考えをまとめる】 ・過去の自分と比較してこれから自分がどんな気持ちで生きものに接していくかを考え、ワークシートに自分の考えを書くことで、生命を大切にすることについて自分事として捉えることができるようにする。
-------------------	--	----------------------------	--